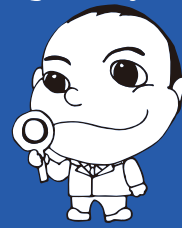


前田 けんいちろう



千葉市議会令和4年第4回定例会が11月29日から12月16日まで行われ、私も一般質問に登壇し①地域防災力の向上について②子ども食堂について質問をさせていただきました。



地域防災力の向上について

現在の避難所運営委員会、あるいは自主防災組織の現状を見ますと、積極的な地域がある一方、存続で精いっぱいのような地域もあるなど、その対応のレベルは様々で、一様ではないように感じています。避難所用の設備や備蓄は拡充や新設が行われ、大幅に改善されていると思いますが、地域で防災活動を指導すべき多

くの自主防災組織や避難所運営委員会の方々が、それらを使えるようにし、いざと言う時の避難所の環境を整えていくことが、重要です。そこで、2点お伺いいたします。

1点目に、指定避難所の防災設備の整備状況について、現状はどうなっているのか、

2点目に、地域住民の防災力の向上のため、どのような訓練や指導、啓発を行っているのか、お聞かせください。

答弁：危機管理監

地域防災力の向上についてお答えします。

はじめに、指定避難所の防災設備の整備状況についてですが、指定避難所には、被災された方々が一時的な生活を行うための機能と、自宅などで避難生活を行う方々を支援する機能を担うこととしており、そのための設備等を整備しております。

まずトイレ対策につきましては、令和5年度末までに千葉市地震被害想定調査における避難者50人当たり1基の確保を目標として、マンホールトイレや携帯トイレなど、災害用トイレの整備を進め、現在、3,175基、50人当たり1基の数量を確保しています。また停電対策として、太陽光発電設備等の整備を進め、138箇所への導入を完了しています。さらに通信途絶に強い地域防災無線を全避難所に配備しているほか、地域への情報発信手段として、デジタルサイネージを全公民館に導入しています。このほか、分散避難者を含め、被災者のための食料・飲料水や、避難所運営を行う方などの健康を守る衛生用品などの備蓄も整備しており、今後も必要な設備・備蓄品の充実を図って参ります。

次に、訓練、指導及び啓発活動の状況についてですが、訓練につきましては、毎年、九都県市合同防災訓練の一環として、避難所開設運営訓練を全市一斉で行い、地域の方々にも参加を呼びかけ、避難者の受入れ訓練や、避難所内の設備・備蓄品の確認などを行っています。また、避難所開設・運営訓練マニュアルや手順を分かりやすく解説する避難所開設運営動画をホームページで公開するとともにDVDの貸し出しにより自主的な訓練を支援しています。さらに、防災ライセンススキルアップ講座を修了した方を防災アドバイザーとして地域へ派遣する仕組みを構築しております。その他、防災に関する講演会や、出前講座、各種広報媒体を使い防災に関する啓発活動を行っており、今後も引き続き、地域の防災力向上につながるような施策を展開して参ります。

今後の対策について

1回目の質問の中でも触れましたが、災害時に役立つ設備の拡充とともに、その防災設備を上手に活用できる人材の育成も同時に行っていくことは、特に重要と考えます。1回目の答弁にありました地域の防災リーダーを育成していくことは、その点で極めて重要な取組みであります。自主防災組織や避難所運営委員会の中には、非常に先進的な活動を行っている団体が幾つかあり、それらの団体には、防災に関心が深いキーパーソンが存在し、地域での訓練等をけん引して頂いているという状況があります。多くの市民の方に実践的な訓練や活動に加わって頂くには、それぞれの地域に知識と情熱を持ったキーパーソンとなる人材を育てることが、大変重要と考えます。特に、防災ライセンススキルアップ講座を修了した方を市で名簿登録し、地域での指導者として活動して頂く、防災アドバイザーという制度につきましては、このようなキーパーソンを育てる手段としてとても大切なことだと感じますし、本市全体の地域防災力の向上のためには、まだまだ伸びしろのある取組みであると考えます。そこで、お伺いいたします。

防災アドバイザーの活動状況と、課題、今後の取り組みについて、お聞かせください。

答弁：危機管理監

防災アドバイザーの活動状況と、課題、今後の取り組みについてですが、防災アドバイザーを育成するための、防災ライセンススキルアップ講座は毎年定員を超える応募があり、防災アドバイザーの登録人数は現在562人と順調に増えていますが、地域への派遣実績は、新型コロナウイルス感染症の流行以前の平成30年度が8回、令和元年度が13回にとどまっております。

課題としましては、派遣実績を踏まえ、防災アドバイザーの制度が、地域にあまり認知されていないことに加え、育成するための講座が総合的な内容となっており、防災アドバイザー自身が、地域で何をどのように指導するのかが明確になっていないことが原因と捉えております。そこで、今後の取組みとしましては、例えば、本年度の防災スキルアップ講座は、災害用トイレの使用法とするなど、テーマを専門課程化し、具体的な知識や技術を習得していただくことで、防災アドバイザー側と派遣要請する地域側の双方にとってわかりやすい制度にすることを検討しているところであります。

前田健一郎からの意見と要望

地域の中に防災活動の指導や啓発が行えるリーダーシップを持つ人材を育成する取組みは、今後ますます重要になってくると思われまます。ご答弁にありました、テーマを専門課程化することは、目的がより明確になり、地域としても利用しやすい制度になると思われまますので、ぜひとも進めていただくとともに、例示のありました、災害用トイレだけではなく、地域からの意見等を聞きながら、様々なテーマに広がっていくことも期待して参ります。併せて、防災アドバイザーには一度の講座だけではなく、知識や技術を維持・向上できるような場を設けることも検討するようお願いいたします。

地域防災力を高めるためには、行政による指導・啓発のみならず、市民同士が教え合いながら、自分たちで考えて構築していくことが重要となりますので、今後も引き続き、自助・共助が進み、地域防災力の向上がより図られるよう、取組みを進めていただければと思われまます。

防災設備を活用できるリーダーの育成を要望

市内で30か所の子ども食堂が活動、その役割は非常に重要 各地域に支援の輪が広がるよう期待、更なるサポートを要望

子ども食堂について

子ども食堂は、平成24年頃に民間団体がはじめて実施したのをきっかけに、民間団体を中心として全国的に急速な広がりを見せていると伺っております。

その役割は、地域内の多世代交流の場や子どもの居場所として、さらには、一人きりで食事をする人が多い子どもたちへの支援など様々であり、地域の人々とのつながりの場やコミュニケーションの手段として期待されているところです。

主に民間団体が運営主体となって開設していると伺っておりますが、新型コロナウイルス感染症が流行する中においても、衛生面に配慮しつつ、テイクアウトや人数制限等の感染防止対策を講じた上で運営を継続されていると聞き、その熱意に深く感服しているところであり、この取組みが市全体に広がっていき、子どもたちへの一層の支援につながることを期待しております。

そこで、2点お伺いいたします。

- 1 点目に、子ども食堂の市内の開設状況について、
- 2 点目に、開設や運営にあたっての本市の支援について、お聞かせください。

答弁:大木副市長

子ども食堂の市内の開設状況についてですが、開設に当たっては市が許認可をしているものではありませんが、本年10月時点で、市内に28か所の子ども食堂が開設されていることを把握しており、市のホームページに一覧として公開しております。

運営主体は主にNPO法人や飲食店等であり、開催頻度や料金などは、各団体により様々となっております。

次に、開設や運営にあたっての本市の支援についてですが、開設を希望する団体等については、子ども食堂開設のサポートをしている千葉市社会福祉協議会をご案内するほか、地域の活性化や子どもの居場所づくりを趣旨とした助成制度の要件を満たす団体に対して支援を行っております。

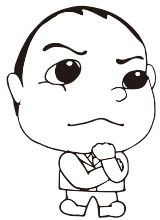
また、運営団体で構成される「千葉市子ども食堂ネットワーク」及び千葉市社会福祉協議会と共催で、子ども食堂の連携を深めるための交流会や、助成金の活用について学ぶための研修会を開催し、ネットワークづくりや情報提供面での支援も行っております。

前田健一郎からの意見と要望

ご答弁にもありましたとおり、市内で30か所ほどの子ども食堂が、活動を続けていることを確認いたしました。子ども食堂は、地域の子どもの見守りや、長期休みの子どもたちの食事面を支援しているなど、その役割は非常に重要と考えており、今後、より一層各地域に支援の輪が広がっていくことを期待しております。

また、運営者に対しても、社会福祉協議会によるサポートや、様々な団体と連携した交流会や研修会の開催などの支援を行っていることを理解しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大や、昨今の物価高騰などをはじめとした、子ども食堂を取り巻く環境には様々な懸念があると考えられることから、引き続き子ども食堂の現状を把握しつつ、寄り添った支援を続けていただくことを期待します。

明けましておめでとうございます。第4回定例会では、防災と子供食堂について質問させていただきました。冬の災害は、気温も低く思わぬ2次被害に直結する可能性があります。そして、夏休みの次に長い長期休暇が冬休みです。学校が休みになると満足に食事を摂ることが出来ない子どもたちが実在します。皆様が新しい年を笑顔で過ごせるように祈念いたしております。



活 動 報 告

先日、北貝塚の交差点までゴミを拾いながら、旗振りに行ってきました!

たくさんのゴミとともに、先般から若葉区土木事務所をお願いしていた道路標示作業が終わったと聞いたので確認のためてくてく歩き回りました。

いつも迅速に対応して下さる土木事務所と現場作業の皆さん、ありがとうございました!年内に作業が終わり、地元の皆さんも喜んでいました!重ね重ね御礼申し上げます。



千葉市議会花のあふれるまちづくり推進議員連盟の皆さんと千葉公園で花植えをしました

各区ごとにプランター2つの花植えを完了しました。きれいな花を植えると気分もスッキリ、心が洗われる気分です。



前田 健一郎(まえだけんいちろう)
自由民主党千葉市議会議員団

所属常任委員会
都市建設委員会
その他
議会運営委員会委員
超高齢社会調査特別委員会委員
広報委員会委員
水道事業運営協議会委員

略歴
加曾利幼稚園
桜木小学校
加曾利中学校
市立船橋高校(サッカー部)
参議院議員井上裕秘書
学校法人東京歯科大学(株)前田溶接工業
グリーン・エコ(株)
千葉市議会議員 1期

桜木小学校3年生頃からサッカーと硬式野球を始め、平日はサッカー、土日は野球の生活が始まる!中学2年でサッカー一本に絞って、市船に進学。サッカー部に所属し360日サッカーに明け暮れる。今からは想像できないと思いますが、当時の体重は62キロでした!



国道51号線バイパス歩道がジャングルのけもの道になっていましたが、草刈りが終わりそうです!通勤通学でご迷惑をおかけしていました。

安全に通行できるようになりました。若葉土木事務所始め、作業員の皆さん、ありがとうございました!

市政に対するご意見をお寄せ下さい! 自由民主党千葉市議会議員団 前田 健一郎 TEL043-245-5480

発行:千葉市議会議員 前田 健一郎 千葉市若葉区千城台南1-3-2 TEL043-312-1793